

2025 年 7 月 23 日

腎臓内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「IgA 腎症の臨床的寛解におけるステロイドパルス単独療法群とステロイドパルス並びに扁桃摘出術併用療法群の比較」への協力をお願い

腎臓内科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2010 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日の間に、当科において、IgA 腎症に対してステロイドパルス療法並びに扁桃摘出術を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2026 年 5 月 26 日

研究目的・利用方法：

IgA 腎症に対してステロイドパルス単独療法とパルス並びに口蓋扁桃摘出術併用療法のいずれが臨床的寛解において有効であるか検証する事を今回の研究の目的としています。治療を開始した時点並びに治療 1 年後の当院での尿検査並びに採血検査結果を用います。

研究に用いる試料・情報の項目

以下の項目について診療録より取得します。これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。

血液検査：血清クレアチニン値、推定糸球体濾過量

尿検査：尿蛋白／尿クレアチニン比、尿中赤血球数

試料・情報の利用を開始する予定日：

2024 年 2 月 10 日より

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 医科学専攻 臨床医学領域 腎臓内科学分野
氏名：吉田学郎

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科 医科学専攻 臨床医学領域 腎臓内科学分野
電話番号：058-230-6523
氏名：吉田学郎

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp